

多胎児の生活歴

日本大学医学部小児科学教室

馬場 一雄

田崎 啓介

藤井 裕

1. 研究目的

昭和51年1月31日鹿児島市立病院において出生した「五つ子」について、前年度にひきつづき「五つ子」の生活歴、特に身体計測、生活状況、疾病歴などを記録し、今年度までのものを集積し、今後の多胎児出生時における一つの指標となりうれば、との考えより、「五つ子」の生活歴を記録した。

2. 研究方法

前年度と同じく週一回、研究協力者が自宅訪問を行い、身体的異常の有無を記録、ベビーシッターによる「五つ子」の日常生活の観察、記録、3～4カ月ごとの幼児定期検診による身体計測を実施した。

3. 研究結果

「五つ子」のそれぞれにおける出生時、一才時、二才児、三才児、四才児の身長・体重・頭囲・胸囲の身体計測値は表-1のごとく集計された。満4才児までの年次別身体計測値を厚生省調査(1970)の乳幼児身体発育値にあてはめ標準偏差値(SD)をもって示したものが表-2である。

これによれば身長では、男児は4才時で $+0.3 \sim -1.6$ SD、女児は $-0.6 \sim +0$ SDであった。同様に四才時における体重では $-1.6 \sim -0.5$ SD(男児)、女児では $-1.8 \sim -0.3$ SDであった。頭囲については男児は $+1.1$ SDであり、女児は -0.3 SD $\sim +0.6$ SDの範囲内にあった。

満四才時の身長・体重・頭囲については五児とも ± 2 SD以内に入り、年次的に漸次、標準値への追いつきがみられている。

更に年次別に身長・体重計測値を厚生省調査の乳幼児身体発育値を $+\frac{3}{2}$ SD、 $-\frac{3}{2}$ SDに分け、男女別にプロットしたものが図1～4である。

身長に関しては、男児は図-1のごとく第一子は二才の時点ですでに $-\frac{3}{2}$ SD以上であるが第三子は四才の時点でやっと $-\frac{3}{2}$ SD以上となった。女児における

身長は図-2のごとく、三才の時点で全て $-\frac{3}{2}$ SD以上の範囲内に入り四才の時点でも同様の傾向を示している。

体重に関しては、男児は図-3のごとく第三子が四才の時点でやっと $-\frac{3}{2}$ SDとなり、体重増加不良を示している。女児では図-4のごとく第五子をのぞき、第二子、第四子は三才の時点で $-\frac{3}{2}$ SD以上に入り、四才の時点でも同様のパターンを示している。但し第五子のみは $-\frac{3}{2}$ SD以下であり、身長の伸びは良いにもかかわらず体重の増加は顕著ではない。

乳歯については三才の時点で第三子のみが18本と遅れていたが、四才では20本となり遅ればせながらも発育をみせた。

ベビーシッターによる生活面の記録の抜粋は別紙のごとくである。これによると本年度より幼稚園という集団生活を営み、又家族構成の変動もあるため、今までにみられた5人の集団より更に大きな集団に入るため、個性がさらにはっきり出現する可能性をひめている。

一般的な面では幼稚園に入った4月では5人とも集中力が消失し、特に女児では情緒不安定の状態に陥っているが、2カ月後にはこの傾向もなくなり、幼稚園の友達宅まで遊びに行くようになっている。入園6カ月後には今回までみられた集団の型をとらずに一人で独立する傾向がうかがえる。

遊びでの面では入園時には5人全員の形をとることが多く、入園2カ月でも友達との協同の遊びはできず5人全員という形がのこっている。入園6カ月後には幼稚園の当番等を待ちこがれるようになり一種の遊びができるようである。

社会・情緒面では入園時にはかなり不安定ですぐ泣いたり、指しゃぶりなどが出現し始めた。約2カ月後にはこのようなこともなくなり他の子供達との協調性が出現した。

言語面では入園時には興奮状態的となり、おしゃべ

りが盛んとなっている。暫くするとこの状態もなくなり、絵本のことを先に読んでしまうようになる。

疾病歴では、前年度に比べ感冒の罹患頻度は変わっていないが、一定のパターンはとっていない。小児期の伝染病である水痘には昭和54年12月4日に第二子が罹患し12月17日には第一子、第四子、第五子、12月18日には第三子と罹患し二次感染のパターンで終わった。

4. 考 察

年次の5人の身体計測値よりみると、漸次厚生省の標準値へ近づいているものといえよう。

身長に関しては第三子の男児が $-1.6SD$ であることにより、実際の骨成熟度の問題とからめて計測を続けていかななくてはならないと考えられる。現在の伸び率からいくと、成人した時には他の4子との差がかなり出現するのではないかと危惧される。

体重に関しては、第五子の女児が $-1.8SD$ であることにより、身長の伸びが悪いにもかかわらず体重の増加が著明でない。いわゆる「やせ」という部類に入りKaup 指数も12である。日常生活面では入園という大きな集団の中に入り、集団生活にとけこんでいく順序をふむわけであるが、今後更に詳細な記録が必要であろうと考えられた。

要 約

4才時における5人の身体計測値よりみると身長・体重・頭囲に関しては5人とも $\pm 2SD$ 以内に入っていることにより、年次的に標準値への追いつきをしめている。

体重については、第五子が $-1.8SD$ であり身長の伸びに体重増加が追いついていないいわゆる「やせ」といえよう。

ただしこれらは出生時が、低出生体重児であったことにより今後も身体計測を年次的に行ない、その成長を観察していく必要がある。

生活面では幼稚園という集団社会に入り、経験を積んでいくわけであるが、現時点ではうまくとけこんでいるように考えられた。

生活面についても発達をみる上に記録が必要であろうと考えられた。

表 — 1 身 体 計 測 値

		出生時	一 才	二 才	三 才	四 才
第一子 (♂)	体 重	1,480 g	8,200	10,200	12,700	14,130
	身 長	43cm	70.7	83	92.5	98.9
	頭 囲	31.3cm	47	47	52	52
	胸 囲	24cm	43	47	52	52.5
第二子 (♀)	体 重	1,800 g	7,510	9,670	11,660	12,900
	身 長	45cm	70	81	89	96.6
	頭 囲	31.5cm	46	48.5	50	50
	胸 囲	25cm	42	47	51	49.5
第三子 (♂)	体 重	1,130 g	7,340	9,290	11,510	12,580
	身 長	41cm	66.5	79.3	87.1	93.1
	頭 囲	30cm	46.8	49.5	51.4	52
	胸 囲	21.2cm	43	45.5	48.5	49
第四子 (♀)	体 重	1,300 g	7,000	9,630	11,520	13,700
	身 長	43cm	67.3	79.5	88.6	95.4
	頭 囲	29cm	46	48	50	51
	胸 囲	22.5cm	43	46.5	49.5	51.5
第五子 (♀)	体 重	990 g	6,150	8,140	9,750	11,120
	身 長	36cm	65	78	87	93.9
	頭 囲	26.9cm	44	46.7	47	47.5
	胸 囲	20cm	40	43	48.5	48.5

表 一 2 身 体 計 測 値

	第一子 (♂)				第二子 (♀)				第三子 (♂)				第四子 (♀)				第五子 (♀)									
	出※	一才	二才	三才	四才	出	一才	二才	三才	四才	出	一才	二才	三才	四才	出	一才	二才	三才	四才						
身長	cm	43	70.7	83	92.5	98.9	45	70	81	89	96.6	41	66.5	79.3	87.1	93.1	43	67.3	79.5	88.6	95.4	36	65	78	87	93.9

※ 出生時

图 - 1

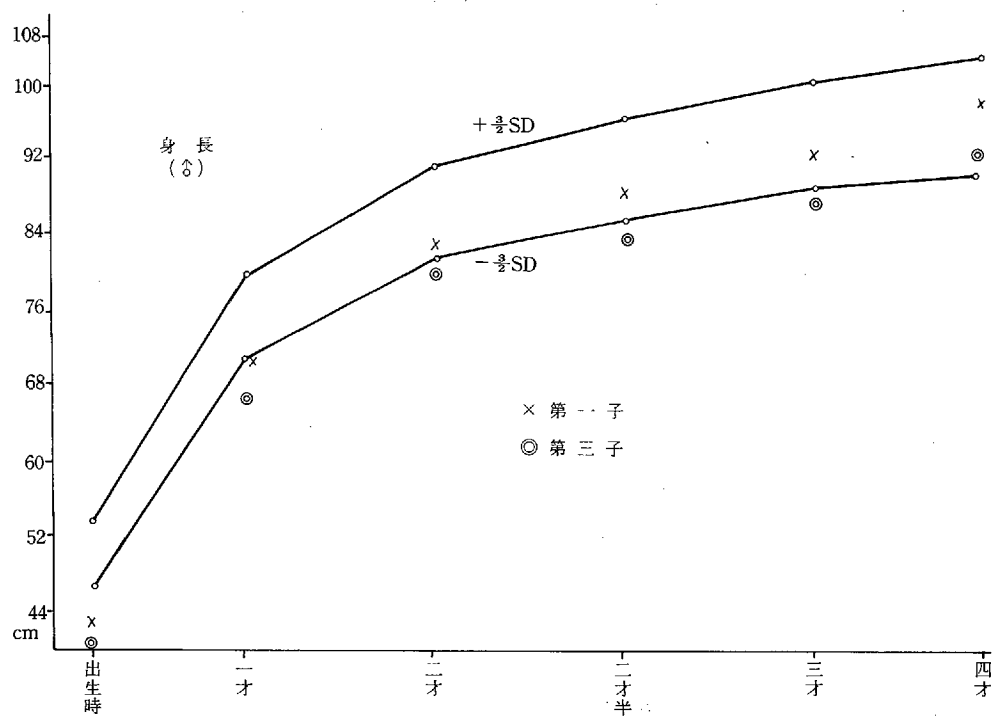


图 - 2

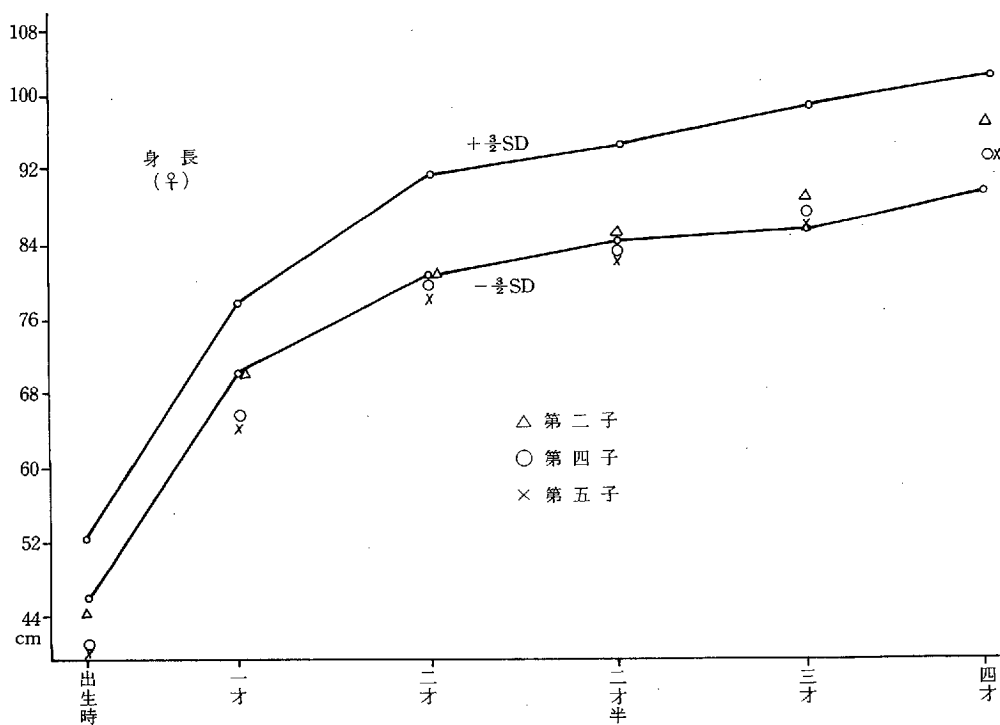


图 - 3

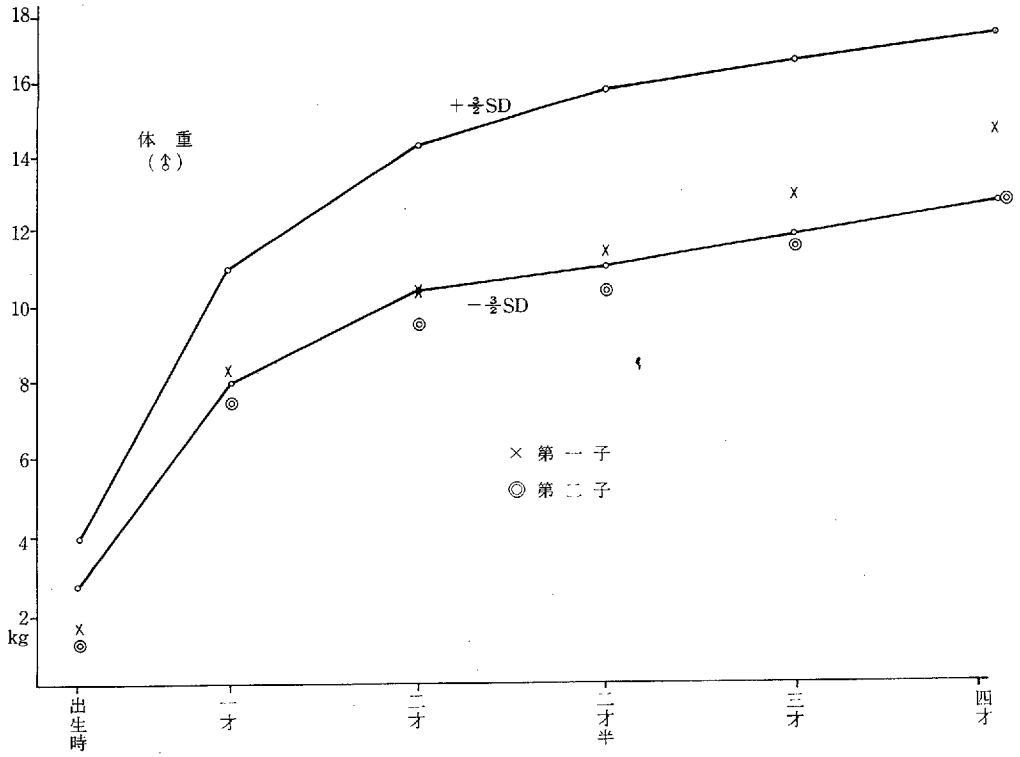
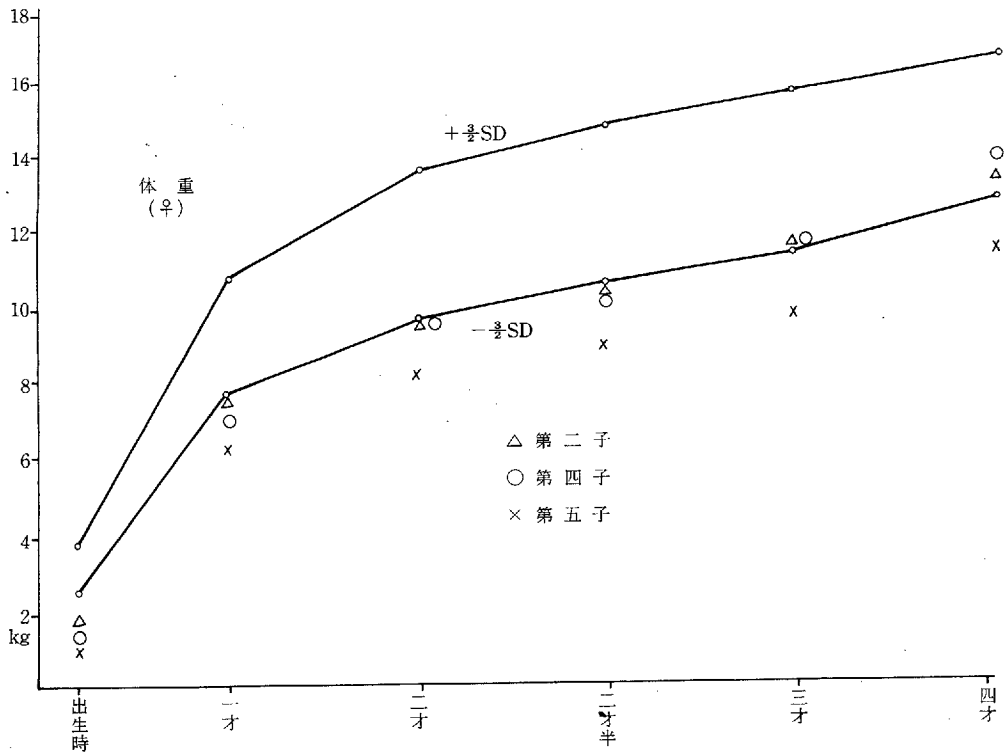


图 - 4



多胎児の生活記録

(4 月)

I 行事など

4月7日 幼稚園入園式

桜井さんが4月いっぱい居なくなる。

II 全 般

- 水のいたずらが増えてくる。
- レゴブロックが大人気。
- 降園の道で自然観察をしたり、幼稚園のことを話す。
- 幼稚園に通うようになってから5人とも集中力がなくなる。女3人は泣き虫になり情緒不安定となる。
- おしゃべりが盛んになる。
- 紙にクレヨンで食べ物を描いて切りとる遊びが大人気。
- 昼食後、紙芝居を見るのが日課となる。
- 幼稚園は9時から11時まで。
- 庭ではあまり遊ばなくなる。

III 遊 び

- ⑥レゴで遊び始める時、必ず箱をひっくり返す。
Fがレゴをやっている時は家の中がとても静か。
トンネル掘りは途中でいつも止めてしまう。
途中までできたトンネルにミニカーをくぐらせて遊ぶのが好き。
- ⑧トンネル作りに凝る。
人の絵を描くのが好き。
- ⑨レゴをやり始める前に作るものを考えてから作る。
Fと協力して遊ぶことが増える。
- ⑩レゴでのりものを組み立てるようになる。
トンネル掘りでは集中してひとりでやる。
- ⑤5人いっしょの遊びには参加せずにひとりで本を見たり、レゴをやったり切り紙などをしている。
トンネル掘りが好きでひとりでやる。
水のいたずらが好き。

IV 社会・情緒

- ⑥5人の中でもっとも情緒が安定している。
おもちゃのひとり占めが少なくなってくる。
よくおしゃべりしてよく笑う。大人を笑わせることが多くなる。

- ⑧通園第一日目は母と別れるときに泣く。

繁尿になる。

「チャーチャン」ではなく「ヒサコ」と呼ばなくては返事をしない。

Tと増々仲が悪くなる。

- ⑨陽気になって大声で笑いはしゃぐことが多い。

帰宅後の着替えをいやがる。(遊びに夢中になってしまう。食事にもやってこない。中断されるのがきらい。)

噛みつきが出てくる。

- ⑩誰かとふたりで共謀していたずらすることが多くなってくる。

噛みつきが多くなる。

朝、母と別れる時に泣くことがある。

ちょっとしたことですぐに泣く。

指しゃぶりが再び始まる。

- ⑤けんかしても負けずに泣かずに頑張ることが多くなる。

噛みつきが時々見られる。

繁尿になる。

就寝前に指しゃぶりが始まる。

夕方になると眠くて、ぐずる。

V 健 康

- ⑥自分でボタンをはずす。大人が手伝うといやがる。

- ⑧床上前転ができる。

シャンプーはおねえちゃんスタイルでできる。

(95 P 参照)

- ⑨

- ①床上前転ができる。

- ⑤床上前転ができる。(5人の中で最も上手)

洗髪の際、おねえちゃんスタイルで洗う。

VI 言 語

- ⑥おしゃべりが盛んになる。

- ⑧

- ⑨公園の道では気嫌のよい日はしゃべりっ放し。

- ①早口ことばを真似ようとする。

「アノネ」を必ず頭にもってきて話す。

質問が多くなってくる。

- ⑤幼稚園の出来事の話はブランコばかり。

VII 自 然

- ⑥花を見て感嘆の声をあげる。

鯉のぼりを見つけると大感激。

㊤花びらをままごとと使用する。

㊦花びらを見て感激して大事に持っている。

小鳥や虫が飛んでいるといつまでもみている。

㊦花びらに関心なし。

㊦花びらに全く関心なし。

Ⅶ 音楽リズム

㊦鼻うたをうたいながらレゴをやる。

㊤ピアノを弾く。

㊦ピアノを弾く。

歌をよくうたう。(実に陽気に)

園で習った歌をすぐに覚えてうたう。

㊦音程も歌詞も正確にうたう。

園で覚えたリズム体操を家ですぐにやってみせる。

ピアノを弾く。

㊦

Ⅷ 絵画製作

㊦絵を描くようになる。大好きな鯉のぼりばかり……。

㊤人物の絵を横向きに描く。

㊦紙で食べものを作ったりする。

クレヨンで食べものを描いて塗って切り取るのが好き。

人物の絵を横向きに描く。

㊦なぐり描きばかり。

自分の名を書こうとする。

㊦

(6 月)

I 行事など

6月4日から月、火、木は弁当持参の日となる。

(9時から13時30分まで)

Ⅱ 全 般

- ・本や紙芝居の中で見たものを遊びの中に取り入れる。
- ・5人いっしょに遊ぶことがよくあり、次々に遊びが転化していく。
- ・男の子と女の子の遊びの好みがかかれてしまうことがある。(男…レゴ、ミニカーなど、女…絵画)
- ・プール遊び(庭において)を友だちを呼んでやる。
- ・ともだちの家に行ったりきたりしている。
- ・F、H、Y 3人の共謀のいたずら続出。

・プールで汚れたシャツやパンツを洗わせる。

・お店屋さんごっこをする。(5人各自が違う店を開く。)

・けんかは1対1でなく5人がからむけんかになることがたびたびある。

・カラオケごっこが大人気。

Ⅲ 遊 び

㊦レゴに夢中。

ともだちがくるとFはおとなしくなる。

Yとレゴで共同作品を初めて作る(家)6月5日のこと。

㊤トンネル掘りに熱心。大人に援助を求めない。

絵を書くのが好き。

Yを相手にお店屋さんごっこ、医者ごっこをすることが多くなる。

ともだちがきてもひとりで遊ぶ。

㊦帰宅するなりプレイルームに行きレゴに夢中。

Hを相手に医者ごっこ、トンネル掘り、ままごとをすることが多くある。

泥んこより水遊びが好き。

㊦ともだちがきてもいっしょに遊ばない。

他の子といっしょに遊びたいのだが、うまくできずに迷っていじめられてしまう。

㊦泥んこではひとり遊びが好き。いつまでも庭でひとりで遊んでいる。

Ⅳ 社会・情緒

㊦他の子がFの大事なものを「カシテ」とくると気嫌がいい場合には「イイヨ」という返事。

他の子のおもちゃをうばいとるのが趣味。うばいとるだけ。

ひとりはずれないで、他の子といっしょに遊ぶことが増えてくる。

㊤ともだちの家に入るとき、少々ためらいがちに入る。

大人との約束を守る。守ってない子に対しては大人に告げ口をする。

㊦小学生の男児とよく遊ぶ。彼に従う。

大人との約束は守らずにYの意志を通す。

㊦ふきそうじを手伝う。

他の子の遊びを邪魔しなくなる。

H以上にともだちの家に入るのをためらう。

泣きながら大人にやってもらいたいことを訴える。

㊦遊びに夢中になって中断されるのを嫌がることもある。

オシッコなのに「ウンチ、デタヨー」と言って大人をからかう。

ともだちが来ると全く不平を言わず仲良く遊んでとてもはしゃぐ。

V 健康

㊦顔に水がかかると泣く。足しか水に入れない。Fだけが顔を洗うのをいやがる。

㊨プールの中に座りこんで遊ぶ。肩に水をかけても平気。

一番泥んこになって遊ぶ。

㊩水が顔以外の所にかかるのは平気。

㊰肩に水がかかるとおこる。

片足ケンケンに凝っている。

㊱水の中へベタンと座りこんで、顔に水がかかっても平気。

自分でからだを洗う。そして湯をかけて洗い流す。

VI 言語

㊦

㊨自分の好きな本は文章を覚えてしまって先に読んでしまう。

㊩紙芝居「しろいしか」がお気に入り。紙芝居を自分で読もうとする。

㊰「はじめてのおそろばん」が大好き（絵本）

今日は何曜日かしきりに尋ねる。

話しことばの乱れが生じる。

㊱告げ口が多くなる。

紙芝居「はしがしがりのだまりんちゃん」が大好き。（この話の中にSの姿を見出したのであろう。）

VII 自然

㊦

㊨

㊩

㊰

㊱植物に水をやるのが好き。

VIII 音楽リズム

㊦めちゃくちゃうたが好き。（2度と同じうたをうたえない。）

㊨大きく口をあけて「ゆうやけこやけ」をうたう。

㊩「こいのぼり」のめちゃくちゃうたをうたう。

㊰「チューリップ」の歌が好き。1日に2回以上はピ

アノを弾く。

㊱小さい声でうたう。

IX 絵画製作

㊦自分でテーマを設けて絵を描くことが時々ある。

㊨自分の描いた絵にサイン「H」「ひ」を書くようになる。

㊩その日に見たことを絵に表現することがある。

㊰クレヨンのタッチが強くなってくる。

ボールペンでなぐり描き。

自分の方から絵を描きたがる。

ひらがな「よ」「ひ」を書く。

㊱糊でベタベタと紙を貼るのが好き。

〔ヘアーピンやヘアーゴムの好みも5人それぞれ〕



(10 月)

I 行事

10月9日 初等部と共に運動会。

10月19日 関東に13年振りの大型台風20号が上陸。

10月23日 日大病院へ検診。

10月29日 NHK科産の撮影（家の中）

10月31日 NHK科産の撮影（家の中）

II 全般

- ・10月17日からピアノのレッスンとリズムレッスンが先生が来宅して自宅にて始まる。
- ・幼稚園の当番を5人とも待ちこがれて楽しみにしている。
- ・まりつきの仕方にも個性がある。
- ・きょうだいから離れてひとりで行動する機会を作る。
- ・幼稚園から帰宅すると必ずプレイルームで手先の細かい作業をして、後は全員ばらばらにからだ全体を使う遊びをしている。手先の遊び（女の子は折紙、男の子はレゴやつみ木）、からだ全体の遊び（鉄棒、まりつき、三輪車など）。

- ・公園の道のりはかなり速く歩けるようになる。
- ・折り紙が大人気。1日の紙の使用量は大量。
- ・10月15日にはバラ組20名中16名が山下家に集合。

Ⅲ 遊 び

- ⑦ 三輪車にひとりでポツンと乗って道路を眺めている。
折り紙はあまりやらない。
レゴが大好き。レゴに夢中になるとおやつにもやめてこない。
プレイルームを独占して遊び、他の子を寄せつけないことがある。
- ⑧ Yとプロレスごっこをする。
まりつきが大好き。Tに負けじと頑張る。
折り紙の折り方は割と早く覚えてしまう。
ケンケンパーをするのが好き。自分でまるや四角を描く。
- ⑨ 道を歩くと石ころ、釘、棒などを収集してポケットへ。
折り紙で舟を作るのに凝っている。それ以外は折る気なし。
レゴが大好き。一日中レゴをやっていることがある。
ブランコより砂場の方が好き。
- ⑩ まりつきを毎日何回もやる。5人の中で一番上手である。
運動が大好き。できるようになるまで何回も練習している。折り紙の折り方は割と早く覚えてしまう。
- ⑪ えんぴつで字を書くのが好き。この間はかなり集中している。
まりつきをとても楽しそうにやる。
折り紙はむずかしくても大人に尋ねながら自分で折ろうとする。

Ⅳ 社会・情緒

- ⑫ 10月31日に初めてひとりでともだちの家に行く。ニコニコ顔で帰ってくる。
急に母がいなくなると「オカーチャーン」と捜し回る。
歩く時、先頭になりたがる。
プライドが傷つくと大暴れする。
- ⑬ 自分の都合が悪い事があると人のせいにする事が出来る。
何でも一番にやるのが好き。
我慢するようという懸命に我慢することができる。
客には時々人見知りをする。

- ⑭ Fがいないと歩く時はYが先頭になる。Fが不在だとレゴをひとり占め。異常なくらいにはしゃぐ。

「フク イナイホウガ イイノ」

10月中旬にともだちの家族と共にYひとりだけが遊園地へ。

幼稚園では女の子に人気があるとのこと。

- ⑮ おもちゃの後片付けを積極的にやるようになる。
ニコニコ顔でいることが多い。とにかくニコニコしている。
何にでも挑戦して自信を得ていくのですべてに調子がいい。

大人と手をつながずに歩けることができる。

- ⑯ 何でもかんでもイヤイヤノ 反抗が多くなる。
自分の要求が通るまで後にひかない。
客に対してとても愛想がいい。

Ⅴ 健 康

- ⑰ 鉄棒にぶらさがるようになる。

まりつきを全くやらない。

- ⑱ まりつき…左手を横に上げ、手のひらをまっすぐにピンと立てて、力を手にかなり入れてつく。20回くらい連続してつける。

- ⑲ まりつきを気がむいたら楽しそうにやる。

- ⑳ まりつき…左手はだらりと下げて口はポカンとあけ軽く弾んでつく。30回くらいは連続してつける。

鉄棒の技E、Fができる。

- ㉑ まりつき…左手を横におろして手のひらを後に向けてピンと立てている。数回つくとすぐに手にもって止める。

鉄棒の技Fができる。

Ⅵ 言 語

- ㉒ 「ソレデネ」が会話の中によく出てくる。

- ㉓ 告げ口が非常に多くなる。

自分の名をひらがなで書きたがる。

紙芝居を見ると感情を素直に表わしている。

- ㉔ 仮定法疑問文「～たら、ドウスル？」の質問が多い。
反対ことばの遊びが好き。

- ㉕ 紙芝居「みぎむけホイノひだりむけホイノ」が大好き。

紙芝居を自分で読もうとする。

知っているひらがなをみつけると喜ぶ。

- ㉖ 紙芝居を自分で読もうとする。

かなり長い文章を一気に話すことがある。

男の子がいないとSはいきいきとしておしゃべりが盛んになる。

VII 自然

㊦ Fが大好きなウサギ。しかし本物の前ではじっと眺めてちょっとこわごわ。

㊨ 台風に脅えている。

㊩ 台風が好きになってしまって「タイフウッテ、タノシカッタネー。」

㊰

㊱ 台風にとっても脅えている。

VIII 音楽リズム

㊦ ピアノのレッスンはイヤ／

レコード鑑賞が好き。Fが好みの所定地のスピーカーがある。

㊨ ピアノのレッスンを真剣にやる。

㊩ ピアノのレッスンが大好き。

㊰ ピアノのレッスンに熱心。

レコードに合わせて楽器をたたいたり吹いたりするのに関心を示す。

㊱ ピアノのレッスンが好き。

「どんぐりころころ」が好きでよくうたっている。

IX 絵画製作

㊦ 折り紙は大人に折ってとせがむばかり。

㊨ 自分の名をひらがなで書きたがる。

どんな作品も自分ひとりの力でやろうとする。

㊩ どんな作品も最初は自分でやるが、思い通りにならないと怒って大人の援助を求める。

地面に絵を描くのが好き。

㊰ ひらがなや数字を書こうとする。

手本を見て、何回もひらがなや数字を練習する。

どんな作品も自分でやってみようとする。

㊱ はさみでジグザグに紙を切る。

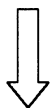
えんぴつで自分の名を書いているつもり。

これを30分はやっている。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約

4才時における5人の身体計測値よりみると身長・体重・頭囲に関しては5人とも $\pm 2SD$ 以内に入っていることにより、年次的に標準値への追いつきをしめしている。

体重については、第五子が $-1.8SD$ であり身長の伸びに体重増加が追いついていないいわゆる「やせ」といえよう。

ただしこれらは出生時が、低出生体重児であったことにより今後も身体計測を年次的に行ない、その成長を観察していく必要がある。

生活面では幼稚園という集団社会に入り、経験を積んでいくわけであるが、現時点ではうまくとけこんでいるように考えられた。

生活面についても発達をみる上に記録が必要であろうと考えられた。